

The Japan Association of Radiological Technologists  
ネットワーク・ノウ

# Network Now

2022 No.558

6 / 1

JART情報  
<http://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会  
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28  
三田国際ビル22階  
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519

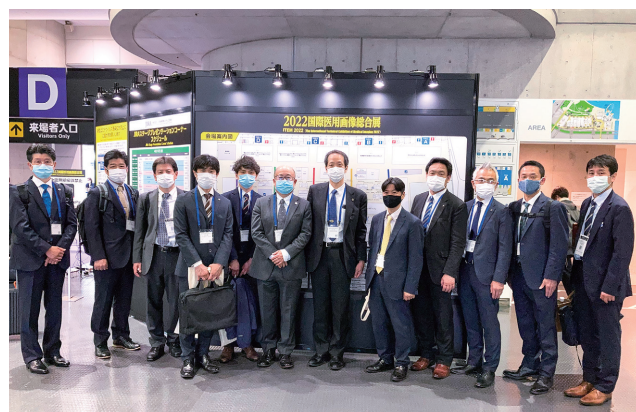


## 2022国際医用画像総合展 (ITEM in JRC 2022) 開催される! (Web併催)



2022国際医用画像総合展 (ITEM in JRC 2022) が、4月15日(金)から17日(日)までの3日間にわたりJRC 2022と併催で開催されました。ITEM 2022のテーマは「未来への潮流と変革 Radiology—A key for the paradigm shift」と掲げられ、多くの現地参加がありました。本年度、会場のパシフィコ横浜展示ホールA (一部)・B・C・Dに138社が出展し、総展示面積は7,910m<sup>2</sup>となりました。また昨年につき、現地開催とWeb展示「ITEM 2022-WEB」(3月15日(火)から5月18日(水)まで)のハイブリッド方式での開催となりました。

本会からは、上田会長をはじめ兄玉副会長、富田副会長、中村泰彦理事が現地入りしました。日本医学放射線学会の青木茂樹理事長と共に国内装置メーカー展示ブースへ、自由民主党の根本匠衆議院議員および古賀篤衆議院議員を案内し、装置の進歩と医療放射線領域の現状やトピックなどを丁寧に説明しました。今後の政策への示唆につながることを期待します。



上田会長から説明を受ける根本匠衆議院議員と古賀篤衆議院議員



左から、日本放射線技術学会 白石順二代表理事、上田会長、根本匠衆議院議員、古賀篤衆議院議員、日本医学放射線学会 青木茂樹理事長

日本診療放射線技師会の facebook ページへ  
「いいね！」をお願いします!

[https://www.facebook.com/jart.or.jp/?ref=pages\\_you\\_manage](https://www.facebook.com/jart.or.jp/?ref=pages_you_manage)



## 2021年度 期末監事監査 実施される

2022年4月26日(火)、2021年度期末監事監査が行われました。初めに上田会長からのあいさつ後、2021年度事業報告総括について報告がなされました。その後、江田理事から庶務報告と事業ごとの報告がなされ、引き続き、江端理事から2021年度会計報告がありました。

報告後、新開監事から、会員数の増加は理解できるも、組織率で見ると1.1%しか増加しておらず、新たな対応としては、都道府県技師会と連携し、所轄の養成校や施設の技師長などへ入会促進への協力を依頼すること、また新たに作成された入会促進パンフレットを理事役員にも複数配布してもらい、役員も入会促進活動に協力してもらうことなどが提案されました。

その後、監事から講評の中で、4つの指摘がなされました。

①入会促進を図り、組織率の向上に向けて、今以上に都道府県技師会と連携を図ってほしい。

\*フレッシュャーズセミナーの継続

\*入会促進パンフレットの役員への配布

②事業報告と決算報告の整合性がなされていない。今後は、事務局の中に司令塔のような担当者を決めて運営すべき。

③予算を超えて事業が施行されていることの見直しと検討。

④公益通報者保護法の順守。

以上の講評が終了し、上田会長より監事からのご指導への感謝と入会促進に向けた会運営を行うことが述べられ、2021年度期末監査は終了しました。

## 本会前会長 中澤靖夫氏 旭日小綬章を受章される!



2022年春の叙勲の受章者が2022年4月29日(金)付で発令され、本会前会長の中澤靖夫氏が保健衛生功勞により旭日小綬章を受章されました。

中澤氏は1977年9月に入会以来、44年以上にわたって本会の会員であり、(社)東京都放射線技師会では12年間会長に就任し、都民の保健衛生の向上や、診療放射線技師の育成および地位の向上に対する活動に尽力されました。

また2010年6月から(社)日本放射線技師会会長、2012年4月から(公社)日本放射線技師会会長を、同年6月から2020年6月まで(公社)日本診療放射線技師会会長を長きにわたって歴任し、国民の保健医療の推進と団体の発展と会員の資質向上に貢献されました。

## 2022年 春の叙勲受章者 —おめでとうございます—

旭日小綬章 中澤 靖夫 (東京都)

旭日双光章 本望 鏡一 (新潟県)

瑞宝双光章 梶原 和則 (愛知県)

菊池 好子 (東京都)

田川 雅人 (東京都)

田中 武志 (埼玉県)

田村 廣行 (北海道)

羽布津嘉宏 (神奈川県)

坂東正十九 (徳島県)

福島 哲弥 (福井県)

藤田 芳則 (徳島県)

濱田 智広 (大分県)

(敬称略・順不同、括弧内は所属地区)

INFORMATION



# 2022年度 第1回理事会 開催される (Web併催)

2022年5月14日(土)午後2時より、本会事務所 (Web併催) で2022年度第1回理事会が開催されました。本理事会は24人の理事の出席があり成立しました。

初めに、上田会長からあいさつがありました。ウクライナ情勢で医療機器の供給にも影響を受けている中、本会でも情報共有を進めていきたいこと、中澤前会長が叙勲として旭日小綬章を受章され、本会が代行して伝達式を行う予定であることが告げられました。

議題は、「令和3(2021)年度事業報告案について」「令和3(2021)年度決算報告案について」「諸規程見直しについて(委員会設置および運営に関する規程・謝金等に関する規程)」「福島県沖地震被災による会費免除申請について」「会誌目次案・Network Now台割案について」「入会者・退会者・会費免除の承認について」「JART-JSRT合同開催用参加登録システム(JJRS)について」「JARTISおよびJJRS開発費用について」であり、いずれも承認されました。

報告事項は、「令和3(2021)年度期末監査報告について」「会長・業務執行理事報告」「会員動向報告」「月次決算報告」「環境省委託事業報告」「創立75周年記念式典について(式典・祝賀会・配布パンフ・記念品)」「第74回診療放射線技師国家試験の正答に対する意見書について」「第31回日本医学会総会2023(東京)について」「編集委員会報告」「広報委員会報告」「会員情報システム委員会報告」「調査委員会報告」「医療被ばく安全管理委員会(医療被ばく低減施設認定更新報告)」「学術教育委員会報告」「診療報酬政策立案委員会報告」「医療安全対策委員会報告」「人材育成委員会報告」「臨床実習指導教育委員会(臨床実習施設登録報告)」「告示研修実施



運営委員会報告」「業務改善推進委員会報告」「地区技師会懇談会報告」「JART-JSRT協力体制推進特別委員会報告」「第37回学術大会(東京)収支報告について」「第38回学術大会(兵庫)について」「各分科会からの報告について」「高輪台高校視察について」「コンビニ収納代行手数料値上げについて」「厚生労働省広報誌配布について」「厚生労働省作成ポスターについて」「厚生労働省啓発チラシ配布について」「出前授業アンケート結果について」「会費の終身免除」2022年度末終了について」「第84回定時総会について」「2022年度新組織図について」「地域理事報告」「その他委員会報告」でした。

最後に、今後のスケジュールの確認と、篠原理事から第37回学術大会の感謝の意が述べられ、本理事会は閉会しました。詳細は、本会会誌に掲載される第1回理事会議事録(抄)をご参照ください。





# 告示研修 開催報告

## 青森県

公益社団法人青森県診療放射線技師会 会長 船水 憲一

2022年4月9日(土)、10日(日)、青森県観光物産館アスパムにおいて、青森県では初めての告示研修(実技)を開催致しました。青森県の新型コロナウイルス感染者数は、4月9日が555人、10日が411人で、人口10万人あたりでは東北地域で一番多い数でした。その影響を受けたのか、受講者数は4月9日が



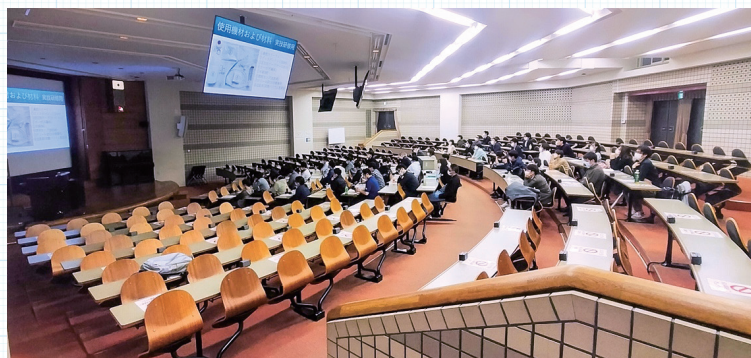
22人、10日が20人とやや寂しい人数でしたが、県外からの受講者もおられ、この講習会開催の必要性の高さがうかがえました。会場は、受講生48人を想定していただいたので、密にならない環境を十分に保てました。しかしながら、指導に熱が入るとどうしても距離が近づく傾向にあるため、客観的に監視できるスタッフの配置も検討したいと考えました。告示研修自体は大きな問題もなく無事終了することができ、ファシリテーターやスタッフには大きな自信となりました。最後に、いろいろとご迷惑をお掛けしたJART告示研修実施運営委員会の先生方に、この場を借りて感謝申し上げます。

## 神奈川県

公益社団法人神奈川県放射線技師会 副会長 伊藤 今日一

2022年4月24日(日)、本会としては1回目となる告示研修(実技)が開催されました。新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながらの開催であり、開催責任者およびスタッフ

は万全な準備の下、対面形式での開催を無事終了することができました。講師の先生方をはじめ、会場スタッフ、受講生の皆さまのご協力に感謝したいと思います。



今回の講習会は横浜市立大学附属病院に併設する大学施設を使用して開催されました。朝の受け付けでは検温、問診票の確認作業で多少煩雑にはなりましたが、時間通り開会式を始めることができました。

午前の部は300人が収容できる講義室においてビデオ視聴、午後の部はグループごとに部屋に分かれて実習を行いました。会場施設は各実習場所への移動の動線も良く、タイトな実習スケジュールは速やかな移



動によって行うことができました。

終了後のスタッフ反省会では、2回目以降の開催に向けて今回の修正点を話し合い、違う会場での運営方法を検討しました。また東京都診療放射線技師会のファシリテーターが見学を訪れ、情報交換を行うこともできたことは非常に有意義であったと思います。神奈川県放射線技師会では年間の開催回数をできる限り確保し、神奈川県広域での開催会場を検討していきたいと考えております。



## 北海道

一般社団法人北海道放射線技師会 常務理事 西原 徹

2022年4月28日(木)・29日(金・祝)の2日間、十分な感染対策を講じて告示研修(実技)を開催致しました。会場は参加人数が多いことと、十分な距離を取れる会場のレイアウトが必要な点から、ホテルライフオーツ札幌を会場として設定しました。

本来は午前中(動画視聴中)に、会場の準備をすることでしたが、初回ということもあり、物品が多いことと床の養生が必要なことから、前日より準備致しました。広い会場で受講者の動線も良く、実習はスムーズに終了致しました。

運営側の意見として、今回の実習は水を使うことから片付けが非常に大変でした。次に使用する支部のために、造影ルートなど1本1本を丁寧に水抜きする作業に相当な時間を要しました。広い北海道という土地柄、移動に3時間以上かけて実習に向かうこともあります。片付けに要する時間次第では、公共交通機関での移動は厳しくなることが予想されました。水にぬれるものに関してはシングルユースの検討、もしくは該当物品のみ自然



乾燥を待っての郵送を許可していただければ、別管理して効率よく撤収ができてと感じました。

現在、告示研修は受講希望者もなかなか予約できない状況があるようです。居住地による不利益がないように可能な限り多く開催できればと思います。





# 診療放射線技師のための フレッシュャーズセミナー 開催報告

## 佐賀県

一般社団法人佐賀県放射線技師会 常務理事 小濱 義幸

2022年4月23日(土)、佐賀県医療センター好生館においてフレッシュャーズセミナーが開催されました。新型コロナウイルスの感染者が増減する中、JART会場型講習会開催ガイドラインに基づいて感染防止に努め、会場で開催されました。今年は例年より少ない7人の新人が参加し、エチケット・マナー、医療安全、医療コミュニケーション、感染対策、被ばく低減について学びました。また柿本会長から告示研修受講の必要性、技師会入会によるメリットについて述べられました。どの講義も熱心にメモを取り、うなずきながら聴講している受講生が多く、とても印象的でした。感染対策の実習では、各施設における新型コロナウイルス感染対策が実施されているため、手指衛生・手袋・ガウンの着脱はスムーズに行うことができました。今回のセミナーで学んだ内容を、日々の業務に反映していただければ幸いです。

最後に、参加者およびセミナー開催に尽力いただきました講師の皆さま、JART事務局の皆さまに感謝申し上げます、フレッシュャーズセミナー開催報告とさせていただきます。



## 群馬県

一般社団法人群馬県診療放射線技師会 教育部長 米持 圭太

2022年4月24日(日)、群馬県立県民健康科学大学多目的ホールにおいて「診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー」が開催されました。新人診療放射線技師を対象にした本セミナーは、日本診療放射線技師会と群馬県診療放射線技師会との共催により、例年4月に開催しています。本年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した上で、日本診療放射線技師会より示された「会場型講習会等開催ガイドラ

イン(新型コロナウイルス感染症対策)」に準じて、密を避けての着席、室内の換気、マスク着用、プログラムの短縮などの感染防止対策を講じての開催となりました。

参加者は、医療機関のみならず大学院に進学した方も含めて19人でした。講義は、例年よりも短縮した内容となりましたが、エチケット・マナー講座、医療コミュニケーション、医療安全、感染対策、被ばく低減などの医療従事者に必要不可欠な内容を優先しました。すでに医療機関で従事している参加者には、自らのスキルを再確認するとともに、新たな知識や技術を習得するいい機会となりました。

今後も社会情勢や感染状況を確認し、Webを併用した開催(会場型とのハイブリッド開催)の検討も含めて、受講者の安全を優先した開催を実施していきたいと思ひます。





# 2021年度 業務改善推進委員会 中四国地域イベント報告

開催日：2021年12月19日(日)

会場：米子コンベンションセンター (BIG SHIP)

講師：鳥取県立中央病院

救急看護認定看護師 山根 太地 先生



## ◎目的

フィジカルアセスメントは主に医師・看護師の研修分野となっていますが、医療機関で働くわれわれ診療放射線技師において、患者の病態評価の際に極めて重要であり、必要なスキルです。

今回は、医療従事者として心得ておきたいバイタル測定知識、急変時のサイン、急変時の対応について、基礎的な部分を学び、共有できるような研修を考え開催しました。

## ●開催のきっかけ

BLS講習を受けても、診療放射線技師は急変時にどこまで手を出してよいのか分からず不安になります。

心停止した場合、心マをしてもいいのか、呼吸苦の人にマスクを着けてもいいのかというのが正直なところ。診療放射線技師もどンドン関わっていいと思わせるような講演が聞けるとうれしいなという意見でした。

## ●開催後の感想

・講習会の内容はとても良かったと思います。

救急に特化した踏み込んだ内容ではなかったですが、普段の業務を行うに当たって知っている必

要のある基本的な内容であり、病院の規模などにかかわらず、どのような環境の方でもすぐに活用できる内容だったのではないかと思います。

またオンデマンドは聴いている側の意見が反映されにくいイメージでしたが、事前アンケートを行っていたことにより、講演後に簡易的な質疑応答のかたちをとることができたのも良かったと思います。

- ・医療の現場で、患者の急変は避けて通れない問題であり、患者の急変時の観察ポイントなどを教えていただき、大変勉強になりました。また他職種から診療放射線技師に対して急変時に求められているものが分かり、各施設での対応の見直しがしやすかったです。質問をアンケートで行ったことで、会員が聴きたいことが集約されていたのが良かったです。
- ・病院の規模やモダリティを問わず、すぐに活用できる基礎知識を教えていただくことができ、大変参考になりました。急変時、技師にできることは限られていますが、これらの内容を確実にやっていくことが大事なのだと思います。
- ・医療従事者として必要不可欠な知識を丁寧に教えていただきました。質疑応答はアンケートから行ったことでフィードバックにつながったと感じました。





# 令和3年度 近畿地域診療放射線技師会学術大会 業務改善推進委員会 近畿地域 関西☆collection 活動報告 (オンデマンド配信)

近畿地域代表 待鳥 尚子

2022年2月20日(日)、令和3年度近畿地域診療放射線技師会学術大会が開催され、業務改善推進委員会近畿地域の関西☆collectionによる活動として、近畿の施設で行われている新人教育に関するアンケートの結果報告を、オンデマンド配信により発表致しました。

近畿の各府県理事や委員・監事などの関係者施設、また関西メンバーの施設などの技師歴5年未満の方々を対象に、新人教育をどのように受けたか、教育中に感じたことなどを、項目ごとに詳細に書けるような欄も設け、選択式で25項目の質問にお答えいただきました。それらの回答を基に、指導者の立場から見てどのように教育しているか、教育する際に注意している点など14項目の質問にお答えいただきました。

その結果、教育を受ける側は接し方に気を付けてほしいことや、教育マニュアル・モダリティーマニュアルの不整備など、体制の問題が多く寄せられました。またメンタル面のケアを指導者側に必要としていることが分かりました。指導者側の方々の「適度な接し方」の考え方にズレがあり、厳しく指導することは新人に対する思いがあるからなど、今後、それぞれの施設で話し合うべきことが浮き彫りになりました。また病院の運営側との間で起こる技師数の問題や教育時間の確保など、思うように指導しづらい環境は、指導者側にとって大きな悩みの一つと言えるようです。

アンケートにお答えいただくことによって一つ言えること

日本診療放射線技師会  
業務改善推進委員会 -近畿地区-

関西☆collection  
～関西の技師さん集まんなはれ！～

第6期！  
近畿地域診療放射線技師会 学術大会

【日程】令和4年2月25日(金)～3月28日(月)  
【場所】Webによる **オンデマンド** 配信

テーマ：『診療放射線技師の働き方改革の課題と人材育成』

- 令和元年度 カンコシ研修会開催時のアンケート報告 (in京都)
- 新人教育に関するアンケートの結果報告

特定医療法人誠仁会 大久保病院 川嶋 咲由

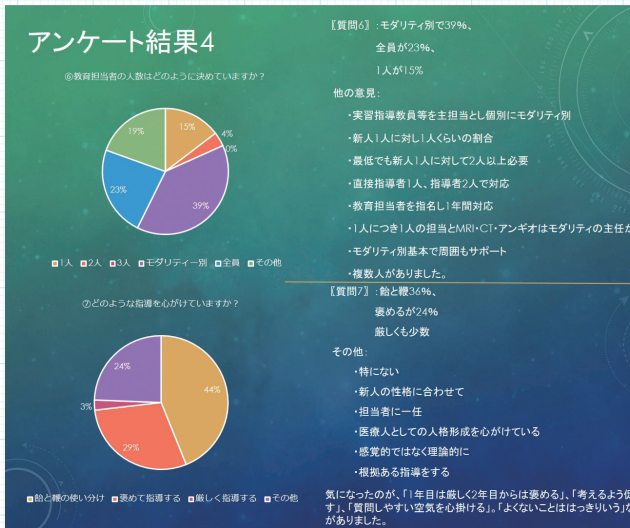
男女問わず！  
お待ちしております！

日本診療放射線技師会では平成25年度から女性サミットが開催され、平成25年度から人材育成委員会 女性活躍推進近畿地区として活動し、令和2年度より業務改善推進委員会に名称を変更して活動することになった通称「関西☆collection (カンコシ)」は、研修会を過去5回に渡り開催してきました。職場での上司部下でのコミュニケーションの取り方や、産休・育休時の対応など、『職場環境の違い』にクローズアップして研修会に参加された方々とともに考えてきました。業務改善推進委員会に名称が変わったことを受け、今年度は働き方改革と人材育成について考えるためのアンケートを実施しましたので、ご報告いたします。ぜひこの機会に「働き方」について一緒に考えてみませんか？

は、それぞれの施設での教育について、見直したり考えたりするいいきっかけになったのではないかと考えています。

今後関西☆collectionは、それぞれの立場における「働き方」について皆で一緒に考えていく「きっかけ」をつくっていただけると考えています。

最後に、本アンケートにご協力いただきました近畿地域各府県技師会理事や関係者の皆さまに、心より御礼申し上げます。



### 意見・感想など

- 産休・育休経験者の実経験が聞けて良かった
  - 保育園の入園のタイミング
  - 様々な施設の産前後のこと
  - 法令
  - 実際にどのようなことを考えていたか
- コミュニケーションの大切さが分かった
- 復帰後の業務形態についても議論してほしかった
- 会場を巻き込んでディスカッションをしてほしい

### アンケート結果6

【質問10】教育期間中に因り不安に思った時に「先輩や上司・同僚に相談できた」という人が多数のなか「出来なかった」人も一定数の意見が聞ける機会が設けられた事意見がありました。1日の業務の中で得た内容を指導する時間や相談を聞く時間を設けていますか？ある場合はどのように行なっているか、ない場合は理由を教えてください。

<時間がある(聞ける)場合>

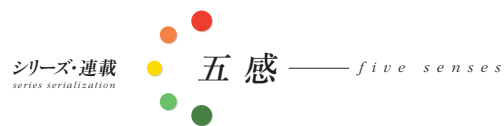
- 上司から聞くようにしているが多い(35件)
- 空き時間やその都度確認(22件)
- 本人から聞く(聞ける環境作りをしている)(19件)
- 1日終了後に確認(13件)
- 定期的に確認(9件)
- モダリティー研修終了後(3件)
- 不安そうにしていたら(3件)

<聞く時間を設けていない理由>

- あえて設けるとお互い息苦しく感じる
- 相談しやすい環境づくりをしている
- 時間を設けることで逆にプレッシャーになりそう
- 誰が担当するかも本当に新人にとって言いやすい人が判断が難しい



## ラジコン



フレッシュャーズセミナーにおいて、エチケット・マナーは必須科目である。また勤務先でも接遇委員会の設置や、接遇セミナーなどを開催されている所は多いと思われる。

ただ、なかなか身に付かなかったり、診療中のシチュエーションによっては難しい場合も多く、正解が分からない場合も多々ある。

以前、私の勤務先で接遇の一環として、患者さんに対して「様」付けで統一することになったことがある（現在は「さん」付け）。厚生労働省の指針の影響とも思われるが、患者さんの反応として、とても大切に扱われているようだと言う方もいれば、具合が悪くて来ているのだから「さん」付けの方が安心感があるなど、さまざまである。救急の場合や、重傷で処置を急ぐ場合は「様」付けでなくてもいいとのことだったが、ついつい習慣で、「様」を使用してしまう場合もあった。当然、患者さまはいい気持ちはしないようだ。

この「様」付けの意図であるが、レクチャーして下さった外部講師のお話によると、最初に「様」付けで呼び出すと、次の言葉掛けが柔らかくなるとのことであった。言われてみる

と、確かに愛想のない言葉遣いにはならない。つまりは「様」付けは、患者さんに対する言葉掛けよりも、自分自身のためのものであったのだ。接遇というものは奥が深いことを知った。

検査時の患者さまへの対応は施設によって多々あり、どれもが正解だと思われる。スムーズな言葉掛けや対応は検査自体もスムーズとなり、患者さまにも好印象を与える。ただ、身に付けるには一苦労である。できることなら他施設の対応を見てみたいと思うのは私だけであろうか。

そこで私のささやかな提案を一つ。ホテル・飲食店のサービスパーソンにはサービスコンクールというものがあるが、診療放射線技師もサービスコンクールを開催してはいかがだろうか。例えば一般撮影の部では、患者さまをお呼びしてから、検査説明・ポジショニング・撮影・被ばくなどの説明を、動画にして送っていただき審査する。上位の者は、ホームページで披露することにより、各施設での接遇向上に役立てるというものである。

もちろん、コンクールの名称は「Radiological technologists Contest」＝ラジコンである。（文責：船水 憲一）

## 本会会員賠償責任保険(全員加入)の傷害保険部分 および付随するオプション保険の終了について

INFORMATION

公益社団法人日本診療放射線技師会 会長 上田 克彦  
財務 江端 清和

本会が契約している賠償責任保険（全員加入）には対人・対物損害保険部分と傷害保険部分がございますが、傷害保険部分については2021年度第1回理事会において取り扱いを終了することが決定し、2022年7月1日午後4時をもって傷害保険部分と傷害保険にセット加入のオプション部分の取り扱いおよび更新が終了となります。これまで傷害保険のオプションに加入されておられた会員各位宛てには取扱保険会社・代理店を通じて同等の内容・掛け金となる代替団体保険をご案内させていただきます。

なお、対人・対物補償に関する損害保険部分については、補償内容および補償金額は変わらず保険に付随する各種サービスもそのまま継続となります。

タスク・シフト/シェアに伴う新たな業務拡大による対人・対物補償につきましても保険料据え置きで従来通り保険の対象となりますが、その際は本会告示研修を修了されていることが条件となりますことを申し添えます。

会員の皆さまにおかれましては、ご理解のほどよろしくお願い致します。

\*ご不明な点は、以下の宛先までお問い合わせください。

公益社団法人日本診療放射線技師会 事務局 総務課保険担当宛て E-mail : info@jart.or.jp

INFORMATION

第7回 第38回日本診療放射線技師学術大会に向けて

# 兵庫への道(神戸から全国へ)

~BE KOBE~

公益社団法人兵庫県放射線技師会  
神戸西支部 支部長 高井 夏樹



## 世界に誇る名所と食材(明石海峡大橋・神戸牛)

兵庫県にある明石海峡大橋は、神戸市と淡路島間の明石海峡に架かるつり橋で、橋長3,911m、中央支間長1,991mあり、世界最長・最大のつり橋としてギネス世界記録にも認定されています。別名「パールブリッジ」とも呼ばれ、ケーブルには世界で初めて色を自在に演出できるイルミネーションランプが1,084組、真珠を連ねたように取り付けられており、夜間には季節や日時に応じて彩りを変えて、全31パターンものプログラムでライトアップされ、多くの人々を魅了しています。

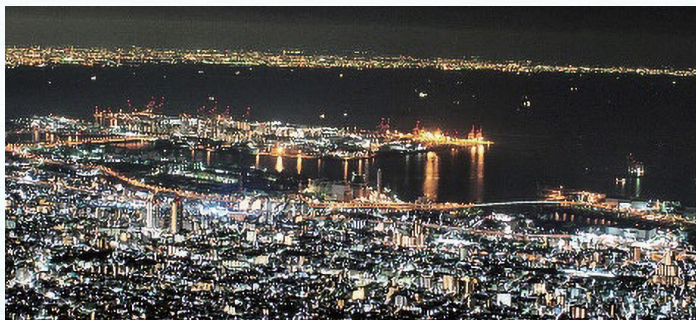


明石海峡大橋は、本州と四国を道路と鉄道でつなぐ本州四国連絡架橋事業の一環として建設されたもので、1988年5月に現地工事に着手し、1995年1月17日5時46分に明石海峡付近の深さ10~20kmを震源として起きた阪神淡路大震災(マグニチュード7.2)を乗り越え、およそ10年の歳月をかけて1998年4月に完成しました。

また兵庫県の有名な高級食材として、神戸牛があります。2009年にはアメリカのメディアで「世界で最も高価な9種類の食べ物」に選ばれるなど、「KOBE BEEF」は、日本だけではなく世界的な高級食材として知られています。



神戸牛とは、純血の但馬牛のうち神戸肉流通推進協議会に認定された農家が育てた最高級和牛のことで、牛肉の格付けを表す肉質等級の中でも「歩留等級がA・B等級」「肉質等級が4以上」で霜降りの「脂肪交雑」を評価する数値「BMS値(ビーフ・マーブリング・スタンダード)」が6~12のお肉が「神戸牛」の対象となり、「但馬牛」の中のものよりすぐれたものにしか与えられない称号です。



兵庫には他にも、六甲山から見渡す1千万ドルの美しい夜景や数々の名所とおいしい食べ物がたくさんありますので、学術大会後には神戸の夜を満喫していただけたらと思っています。





第38回

# 日本診療放射線技師学術大会

38th Japan Conference of Radiological Technologists

**会期** 2022年9月16日(金) — 18日(日)

**会場** 神戸コンベンションセンター [ハイブリッド開催]

**会長** 上田 克彦 公益社団法人 日本診療放射線技師会会長

**大会長** 後藤 吉弘 公益社団法人 兵庫県放射線技師会会長

タスク・シフト/シェアに伴う  
業務拡大を推進しよう

## 革新の挑戦



主催/公益社団法人日本診療放射線技師会 共催/公益社団法人兵庫県放射線技師会  
後援(予定)/厚生労働省 日本放射線技術学会 兵庫県 神戸市 神戸新聞社

〈運営事務局〉  
公益社団法人 兵庫県放射線技師会  
神戸市中央区元町通5-2-3-1011 TEL.078-351-5172

## 診療放射線技師のための フレッシューズセミナーのお知らせ

INFORMATION

プログラムは、エチケット・マナー・医療安全・感染対策・気管支解剖・胸部撮影基礎（都道府県により違いあり）など、現場ですぐ役立つ知識です。会員・非会員を問いません。

日程と会場については変更される可能性がありますので、詳細は、県技師会までお問い合わせください。

■フレッシューズセミナー開催予定：	東京	6月5日(日)	Web開催		
千葉	6月5日(日)	Web開催	岩手	6月12日(日)	Web開催
栃木	6月12日(日)	会場開催	滋賀	6月12日(日)	会場開催
香川	6月18日(土)	Web併催（ハイブリッド開催）	三重	6月19日(日)	Web開催
北海道	6月25日(土)	Web開催	愛知	6月26日(日)	会場開催

## 6月・7月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

- 告示研修（基礎研修）： Web開催 2021年7月31日(土)午前0時から申し込み受け付け【e-ラーニング形式】  
※お申し込み成立の日から告示研修終了まで何度でも視聴いただけます。
- 放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全管理のための研修： Web開催 2022年6月13日(月)午前0時から12月20日(火)午後11時59分まで申し込み受け付け【e-ラーニング形式】  
※お申し込み成立の日から2023年1月28日(土)まで何度でも視聴いただけます。
- モニタ精度管理セミナー： 東京 2022年6月25日(土)
- 放射線被ばく相談員講習会： Web開催 2022年7月10日(日)

※新型コロナウイルスの感染状況により、開催中止または開催方法が変更になる場合があります。

## ホームページ閲覧のお願い

INFORMATION

「業務拡大に伴う統一講習会」「診療放射線技師基礎技術講習」「告示研修（実技研修）」の開催日程につきましては、ホームページで随時更新しておりますので、そちらをご参照ください。

- 「業務拡大に伴う統一講習会」開催日程：[www.jart.jp/activity/lifelong\\_study/2022\\_schedule.html](http://www.jart.jp/activity/lifelong_study/2022_schedule.html)
- 「診療放射線技師基礎技術講習」開催日程：[www.jart.jp/activity/lifelong\\_study/ib0rgt0000081c3.html](http://www.jart.jp/activity/lifelong_study/ib0rgt0000081c3.html)
- 「告示研修（実技研修）」開催日程：[www.jart.jp/activity/lifelong\\_study/kokuji\\_schedule\\_2022.html](http://www.jart.jp/activity/lifelong_study/kokuji_schedule_2022.html)

## JART電子ブックシステムの試験運用の開始について

INFORMATION

将来的なJART会誌の電子化を見据え、電子ブックシステムの試験運用を2021年11月7日(日)より開始しております。

会員の皆さまには下記URLまたは2次元バーコードより「JART電子ブックシステム」にログインしていただき、ログインID・パスワードを入力の上、ご覧いただけます。

なお、パスワードは3カ月ごとに変更されます。今後、パスワード更新時には会誌でご案内致します。

- ログインURL：<https://www.jartbook.jp/jart/login.html>

- ログインID/パスワード：会誌参照



JART電子ブックシステムのログイン画面

事務所  
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。

ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日（7月13日）および年末年始（12月29日～1月3日）は執務致しません。